（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域企業と学生の交流による地域の未来創生事業
事業主体 （連絡先）	しんきん若手経営者の会 飯田信用金庫　営業統括部　ビジネスソリューション課　玉井真吾（0265-22-1700）
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　オ　その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	916,170　円（うち支援金：　687,000　円）

事　業　内　容

令和6年度から実施してきた「出前授業」の発展版として「未来創造カードゲーム」を小中学生向けに実施。これまでのように学校から依頼があって会員が授業を行うのではなく、参加者（地域の小中学生）を募って、会員（経営者）と参加者が、「未来創造カード」というツールを使って売り上げ目標を達成するという共通目標を掲げて経済について学び、売上目標の達成を目指すゲームを実施。また、ワークショップの前後には出展企業への訪問を行い、出展の見学や体験を通じて地域内企業やお仕事について知る機会を作った。



【チームに分かれてカードゲームに取り組んでいる様子】

事　業　効　果

①カードとカードを組み合わせて価値あるものを生み出し、制限時間内にどこまで売り上げを伸ばせるかを競う「未来創造カードゲーム」を通じて、地元の小中学生が、地域の経営者と関わり合いながら、自ら考え、行動することで、経済の仕組みや会社として売り上げを上げるという経験ができた。
②ワークショップ前後の出展ブース訪問では、出展企業の商品を見たり、体験を行うなどして実際のお仕事の理解を深めることができた。

③ＳＹＭＳ活動について各学校へ周知できたことで、今後学校との更なる連携が期待できる。SYMSフェスティバル前後にもキャリア教育に関する依頼が来ている。

【目標・ねらい】

①学生が卒業後に地元に帰ってこないという地域課題に対して、地域の経営者との接点を作り、地域のことを知ってもらう。
②職業体験を通じて地域のおしごとについて知ってもらう。
③ＳＹＭＳについて知ってもらい、今後のキャリア教育との連携を図る。

※自己評価【　Ａ　】

【理由】
当日は、カードゲームを実施したＳＹＭＳフェスティバルに2,500名もの方にご来場いただいた。カードゲームでの接点はもとより、ＳＹＭＳを知っていただき、今後のキャリア教育につながる事業となった。

今後の取り組み

これまで行ってきた従来の出前授業は継続的に行うとともに、今回行った「未来創造カードゲーム」のようなワークショップ形式の授業や体験をＳＹＭＳ主導で開催し、地域の学生が自主的に参加できる形式を目指す。このアプローチにより、より多くの学生が参加しやすい機会を提供するとともに、地域全体での教育効果を高めていく。さらに、令和8年度以降はの連携を強化し、多様な業種や業態を取り入れた活動も検討していく。
「未来創造カードゲーム」に関しては、令和7年度は専門事業者に運営を委託したが、令和8年度以降は他団体との連携も含めた運営を検討し、より強固な運営体制を築くことを目指す。今回対象者は小中学生としたが、次年度以降は高校生へ範囲を拡大し、地域企業や経営者を知る機会を作り、地元就職や地域活性化を図る一歩として活用する。